

国総研(つくば)では7月4日4:50から非常体制に移行し、同日第1回災害対策本部会議を開催。令和2年7月豪雨の影響により、九州地方において被害が発生し、さらに広い範囲で被害拡大の恐れがあることから嚴重に警戒することを確認。

さらに、5日第2回、6日第3回、7日第4回災害対策本部会議を開催。被害状況や本省からの要請等に関する情報を共有し、速やかに専門家の派遣を行う体制を固めた。

【専門家の派遣状況(7日現在)】

7月5日 河川分野3名、道路分野1名の専門家を現地に派遣

7月7日 道路分野1名の専門家を現地に派遣



災害対策本部会議の状況(7月)